

内閣府だより

沖縄子供の貧困緊急対策事業の実施状況について

沖縄の子供を取り巻く厳しい状況を踏まえて、平成28年度から沖縄子供の貧困緊急対策事業に取り組んでいます。令和2年度からは新規事業として、子供の居場所への専門家派遣等も実施しています。

この事業の令和2年度分の実施状況を取りまとめました。概要は次のとおりです。

- 「子供の貧困対策支援員」が118名配置され、支援を受けた子供やその保護者等の数は、前年度から約1,200人増の約7,600人となりました。
- また、「子供の居場所」は計155箇所となり、その利用者は、コロナの影響もあり、前年度からほぼ横ばいの延べ約30万人となっています。

内閣府 HP の掲載はこちら ▶ <https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/kodomo-hinkon/okinawakodomo.html>

「沖縄子供の貧困緊急対策事業の実施状況」の取りまとめについて

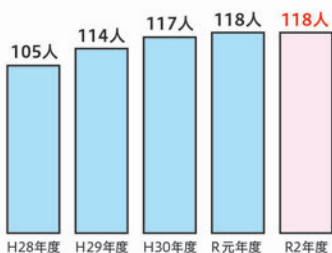
●支援員の支援を受けた人数は増加。居場所を利用した人数は、新型コロナウイルスの影響もあり、ほぼ横ばい。

① 支援員の実施状況

※以下の赤字は、令和2年度の実績として新たに公表する数字。(かっこ書き)は、前年度実績との比較。

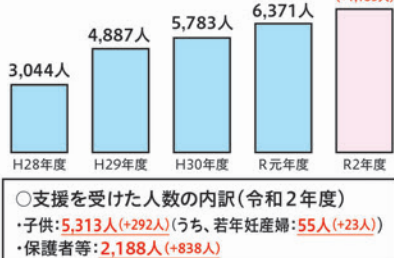
1. 支援員の人数

●人数



2. 支援を受けた人数

●支援を受けた子供・保護者等の人数



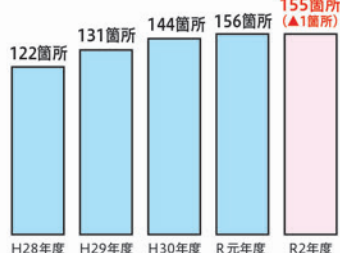
3. 支援した子供やその保護者をつないだ場所(割合)

- 居場所: 25.3%
 - 市町村役場: 15.0%
 - 学校・教育委員会: 20.2%
 - ハローワーク: 0.5%
 - 児童相談所: 1.0%
 - 社会福祉協議会等: 5.3%
 - 民生委員: 1.0%
 - 医療機関: 1.6%
 - 弁護士: 0.1%
 - その他(フードバンク等): 16.7%
- ※支援を受けた人数に対する割合

② 居場所の実施状況

1. 居場所の箇所数・実施内容

●箇所数

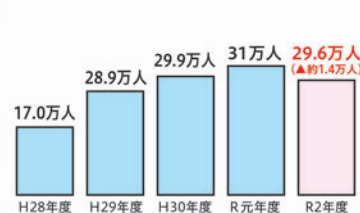


●実施内容(令和2年度)

- 食事支援: 138箇所 (▲6)
 - 拠点型※の子供の居場所: 13箇所 (+1)
 - 生活指導: 151箇所 (▲4)
 - 若年妊産婦の居場所: 5箇所 (+2)
 - 学習支援: 125箇所 (±0)
 - キャリア形成支援等: 88箇所 (▲8)
- ※通常の居場所よりも手厚い支援を必要とする子供への支援を目的とした居場所

2. 居場所を利用した人数

●利用者延べ人数



※参考 1日1箇所あたりの平均利用者数
 ○令和2年度: 約13人